

■ 教育目的

各研究室の研究をわかりやすく紹介し、生命創薬科学研究とは具体的にどのようなものかを理解させる。ここで得た知識を生かし、3年次の「薬科学総合実習・演習Ⅰ・Ⅱ」、さらには4年次の「卒業研究A・B」へとつなげ、研究に対する基礎力を充実させる。ここで得た研究基礎力は、さらに、大学院での研究、就職に生かされていく。

【卒業認定・学位授与の方針：SD-①、SD-②、SD-③、SD-④】

■ 学習到達目標

各研究室の研究を概説できる。さらに、紹介された研究の中で、特に興味を持った研究に対しては、1年次の「薬の発見・発明」で行ったように調査を行い、理解を深め説明できるようにする。

■ 準備学習（予習・復習）

予習は必要なし。ただし復習はしっかり行い、理解できない箇所は担当教員に質問し、各研究室の研究内容を理解すること。（1時間以上）

■ 授業内容

生命創薬科学科 10 研究室は研究紹介（約 40 分）、評価のための課題（レポート、グループディスカッションなど）（約 40 分）、薬学科 7 研究室は研究紹介（約 40 分）

No.	項目	授業内容	SBO コード
1	オリエンテーション	授業の目的と内容の説明 個人レポートの作成 ①なぜ生命創薬科学科に入学したか ②将来について ③1年を終えての自己評価	
2-15	研究紹介と課題	生命創薬科学科 10 研究室は研究紹介（約 40 分）、評価のための課題（レポート、グループディスカッションなど、約 40 分）、 薬学科 7 研究室は研究紹介（約 40 分）	

■ 授業分担者

齋藤直樹、齋藤望、高波克利、小山清隆、長浜正巳、大石一彦、佐藤準一、杉田隆、菱沼滋、兎川忠靖、小笠原裕樹、紺谷園二、森田雄二、杉山重夫、高取和彦、深水啓朗、野地匡裕、高取薫、馬場正樹、片山昌勅、鈴木俊宏、樋口和宏、横屋正志、石田洋一、小川泰弘、紀嘉浩、市川智恵、田湯正法、小林健一、林賢、月村考宏、小池伸、荒木信、伊藤元気、井上元基、木村真也、倉門早苗

■ 課題（レポート、試験等）のフィードバック及び成績評価方法

評価は生命創薬科学科 10 研究室課題を各 10 点で評価し、合計 100 点とする。

■ 教科書

なし

■ 参考書

なし

■ その他

予習は必要ないが、復習はしっかり行い、各授業内容を理解する事。理解できない箇所は担当教員に質問をすること。各研究室の研究内容を理解し3年次の薬科学総合実習・演習や4年次の卒業研究の研究室選択につなげて欲しい。